

CR-G100

IP カメラコントローラー

目次

1	安全上／取り扱い上のご注意と免責事項	4
安全上のご注意		4
こんなときは(異常時の対処方法)		4
取り扱い上のご注意		5
免責事項		5
2	はじめに	6
商品構成		6
■ 別売アクセサリ		6
■ 動作を確認した市販アクセサリ		6
概要		7
本書の読みかた		7
各部の名称		8
■ IP カメラコントローラー CR-G100		8
■ スタンドアローンベースアダプター		8
3	設置／接続	9
設置する		9
配線を行う		9
■ LAN ケーブルにフェライトコアを取り付ける		10
■ 機器間の配線を行う		10
電源を入れる／切る		11
4	設定	12
Web セットアップツールを使用した確認手順		12
Web セットアップツールを起動する		12
■ IP カメラコントローラーの IP アドレスを設定する		13
Web セットアップツールの画面構成		14
接続機器を登録する		15
■ 接続機器を確認して登録する		15
操作パネルの画面構成		16
雲台ヘッドのホーミングを行う		16
使用するレンズを選択する		16
吊り下げモードを切り換える		17
雲台ヘッドの可動域を設定する		17

■ 動作速度を切り換える.....	17
■ パンの可動域設定.....	17
■ チルトの可動域設定	18
■ ロールの可動域設定	18
■ ズームの可動域設定.....	18
■ 可動域設定の操作を行う.....	18
雲台ヘッドの位置をプリセットする	19
■ プリセットを登録する	19
■ プリセットした位置に移動する.....	19
撮影用カメラの動作を確認する.....	20
■ 接続したカメラの映像を確認する	20
■ 撮影用カメラの撮影設定を変更する	20
■ 撮影用カメラのオートフォーカス／シャッター操作を確認する.....	20
Status 画面でシステムの状態を確認する.....	21
本番撮影用の READY 状態に移行する.....	21
IP カメラコントローラーのファームウェアを更新する.....	21
メニューで設定／操作する.....	22
■ ロボティックカメラヘッド設定メニュー	22
■ メニュー	23
5 その他	24
トラブルシューティング.....	24
■ エラーメッセージ	25
■ 本機を工場出荷設定に戻す.....	25
製品仕様	26
■ IP カメラコントローラー CR-G100	26
6 資料集.....	27
接続／設定のチェックリスト.....	28
外観図 (CR-G100)	29
外観図 (スタンドアロンベースアダプター)	30
7 索引	31

1 安全上／取り扱い上のご注意と免責事項

安全上のご注意

製品を安全に使用していただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは(異常時の対処方法)

- ・発煙、異臭、異常音などが発生した
- ・落として破損した
- ・異物(金属や液体など)が内部に入った



電源プラグを電源から抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、キヤノンマーケティングジャパン(株)にご連絡ください。



警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

運搬／設置

- ・発火や引火の危険性がある場所に設置しない。
発火性ガスが発生／充满する場所に設置すると、引火して火災の原因となります。
- ・説明書に従い、取り付け部のネジをしっかり締めて製品を固定する。
製品を固定しなかったり、ネジが緩んだりすると、転倒・落下によるけがや事故の原因となります。
- ・高所作業を伴う場所に設置するときは、事前に機材の落下防止対策を行う。
機材の落下によりけがの原因となります。

電源

本製品を PoE ハブにつないで使用するときは、品(イーサネット)端子から電源が供給されます。

- ・電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- ・ほこり、湿気、油煙の多いところで、長時間電源につないだままにしない。
絶縁不良をおこし、火災の原因となります。
- ・タコ足配線をしない。
- ・コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- ・いつでも電源プラグが抜けるように、プラグの周りにものを置かない。

- ・電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
- ・設置場所(認可品、環境)に適合し、製品の仕様にあった電源ケーブルを使う。
不適切な電源ケーブルを使うと、火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグは、電源 OFF 時に抜き差しする。

取り扱い

- ・液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れたりしない。
- ・強い衝撃や振動を与えない。

保守／点検

- ・電源プラグを電源から抜いたあとで、乾いた布で拭く。
電源 ON のまま濡れた布で拭くと感電の原因となります。
- ・アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- ・分解や改造をしない。
 - ・内部に露出した電極があり、触れるとけがや感電の原因となります。
 - ・ゴミやほこりが混入すると、故障の原因となります。
 - ・高温多湿の場合、湿気を多く含んだ空気が内部に入ると、故障・曇りの原因となります。



注意 傷害を負う可能性がある内容です。

運搬／設置

- 不安定な場所や振動の多い場所に設置しない。
落下・転倒によるけがの原因となります。
- 塩水が直接かかる場所や腐食性ガス・油煙の発生する場所に設置しない。
取り付け部が腐食劣化し、落下によるけがの原因となります。

取り扱い

- 取り付け部のネジに緩みがないか、定期的（半年から1年ごと）に点検する。

取り扱い上のご注意

- 高温の場所に設置しない。
故障の原因となることがあります。
- 凍結に注意する。
本製品は凍結防止構造ではありません。凍結の恐れがある場所に設置するときにはご注意ください。凍結時には動作しないことがあります。

免責事項

- 1 お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 2 本製品の品質・機能および本書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
- 3 本製品を使用して得られた結果については、保証いたしかねます。
- 4 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、断りなく変更することがあります。
- 5 修理や保守点検、本書に記載されていない諸調整などにつきましては、キヤノンマーケティングジャパン(株)にお問い合わせください。
- 6 お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、修理などをお引き受けできないことがありますのでご注意ください。
- 7 本製品を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2 はじめに

商品構成

以下は、CR-G100 を単体で購入したときの構成品です。使用前にすべてのものが梱包されていることをご確認ください。



IP カメラコントローラー
CR-G100



N3 ケーブル



スタンドアローン
ベースアダプター



フェライトコア

■ 別売アクセサリ



カメラリモート
アプリケーション CR-A100

MEMO

カメラリモートアプリケーション CR-A100(別売)について

カメラリモートアプリケーション CR-A100(別売)を使用すると、複数のロボティックカメラシステムと EOS カメラを制御できます。また、コントローラーによる操作や遅延の少ないストリーミング映像による撮影が可能です。アプリケーションの詳細については、カメラリモートアプリケーションの操作マニュアルをご覧ください。なお、IP カメラコントローラーのファームウェア(21)とカメラリモートアプリケーションは最新版をご使用ください。

■ 動作を確認した市販アクセサリ

- ・ 俯瞰カメラ Watec 社製 WAT-02U2D
- ・ アイピースカメラ
 - ・ カメラ Watec 社製 WAT-03U2
 - ・ レンズ Watec 社製 M0820BC12
 - ・ マウントアダプター Watec 社製 28MMA-M12-155

概要

本書では、IP カメラコントローラー CR-G100 の取り扱いおよび、IP カメラコントローラーの設定画面である Web セットアップツールの操作のしかたについて記載しています。本機の最新情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

MEMO

ネットワーク環境について

- 本製品は、インターネットから切り離されたプライベートなネットワーク環境で使用することを前提としています。
- 本書は、ネットワーク機器の設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。ネットワーク機器の設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク(Ethernet)の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

本書の読みかた

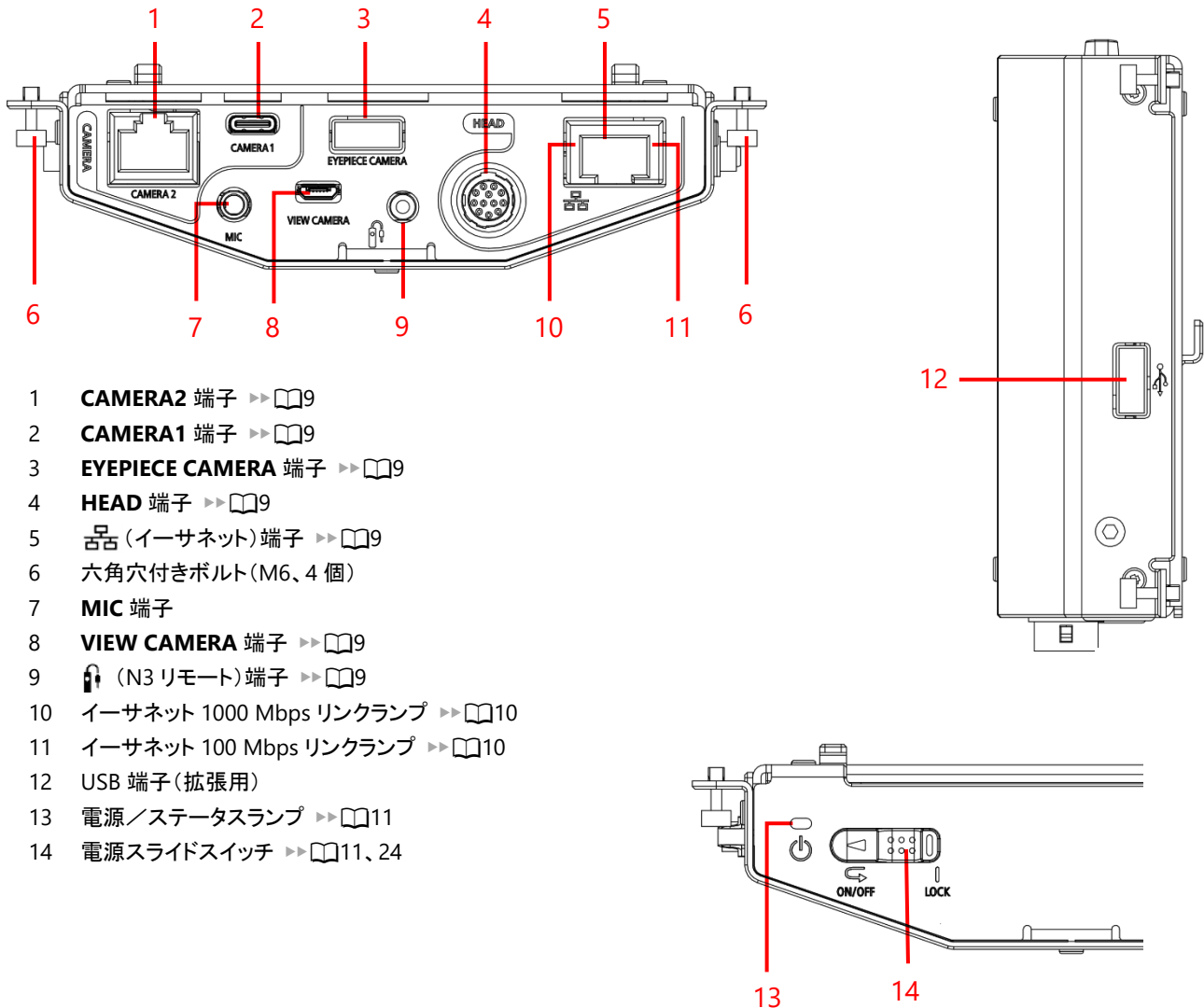
本書中は次の表記を使用しています。

ご注意	必ず守っていただきたいこと	雲台ヘッド	ロボティックカメラヘッドのこと
MEMO	知っておいていただきたいこと	吊り下げ位置	雲台ヘッドの台座ユニットを上にする設置姿勢のこと
	参照ページ		
参考 ▶▶	参考になるページなど		

- 本書では試作品の写真／図／画面を使用して説明しています。そのため、実際の製品とは異なることがあります。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。
- 本機の設定画面(Web セットアップツール)およびメッセージはすべて英語で表示します。
- 本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

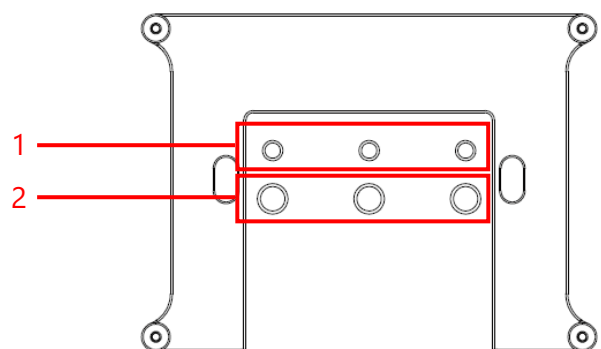
各部の名称

■ IP カメラコントローラー CR-G100



■ スタンドアローンベースアダプター

- 1 三脚取り付け穴 (1/4 インチ、3 個)
- 2 三脚取り付け穴 (3/8 インチ、3 個)

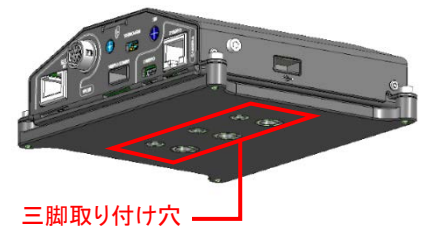


3 設置／接続

設置する

ロボティックカメラヘッド CR-S700R を使用しないときは、上下を逆にした IP カメラコントローラーの下側にスタンドアロンベースアダプターを取り付け、スタンドアロンベースアダプターの底面の三脚取り付け穴(1/4 インチと 3/8 インチ、各 3 個)を使用して三脚などに設置します。

スタンドアロンベースアダプターは、中央が肉厚になっている方を IP カメラコントローラーの電源スライドスイッチ側に向けて、六角穴付きボルト(M3.4 本)で取り付けます。

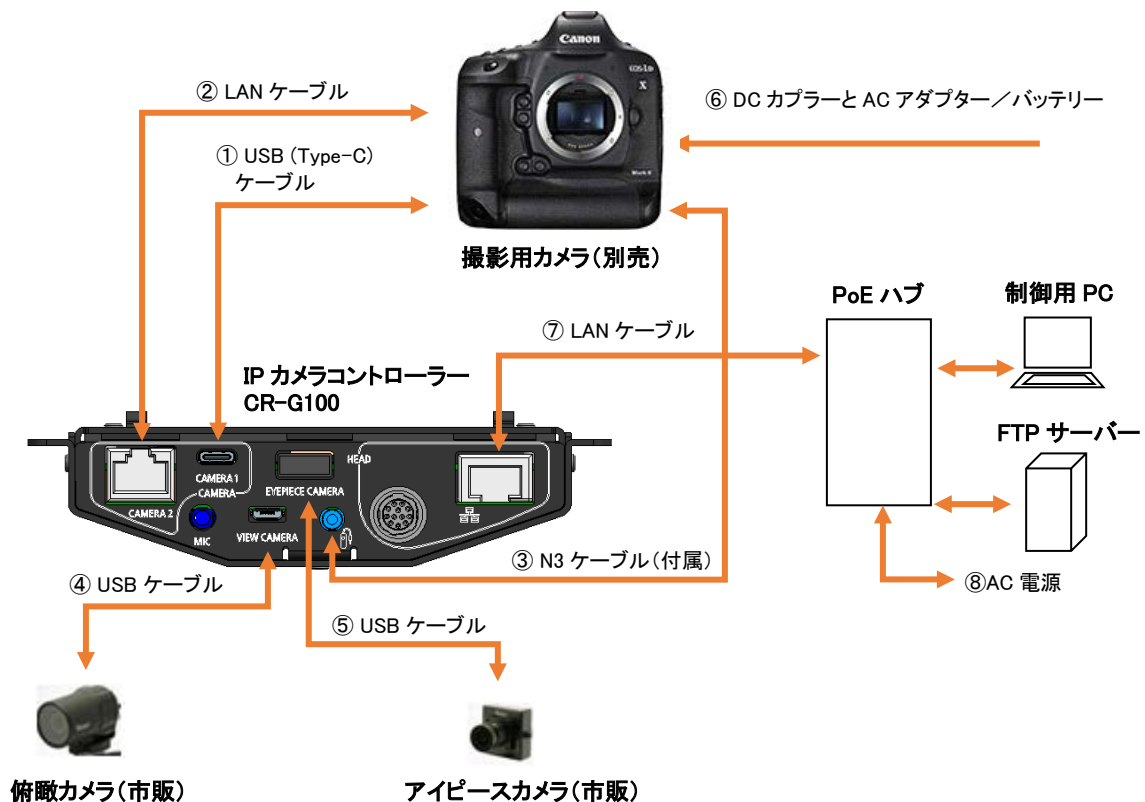


MEMO

- 三脚取り付け穴には、取り付けネジの長さが 10 mm 以下の三脚を取り付けることができます。

配線を行う

以下の図を参考にして、本機と撮影用カメラなどとの配線を行ってください。ネットワーク機器については、PoE ハブに制御用 PC と FTP サーバーをそれぞれ接続する例で示しています。撮影用カメラや俯瞰カメラ、アイピースカメラの詳細については、各カメラの説明書をご覧ください。また、ロボティックカメラヘッド CR-S700R を使用する場合の配線については、CR-S700R 使用説明書をご覧ください。



MEMO

ネットワークについて

- IP カメラコントローラー、制御用 PC、FTP サーバー、撮影用カメラは、閉じたネットワークに接続してください。
- IP アドレスは、静的 IP アドレスを使用します。
- 撮影用カメラのネットワーク設定については、撮影用カメラの有線 LAN 使用説明書をご覧ください。

イーサネット 1000 Mbps リンクランプ／イーサネット 100 Mbps リンクランプ(□8)の動作について

- イーサネット接続が 1000 Mbps または 100 Mbps の転送速度で使用可能になると、対応するランプが緑色に点灯します。また、データの送受信中はランプが点滅します。

■ LAN ケーブルにフェライトコアを取り付ける

PoE ハブに接続する LAN ケーブル(市販)にはフェライトコア(付属)を取り付けてください。発生するノイズを低減できます。

1. LAN ケーブルのプラグの端から約 3 cm の位置に、フェライトコア(付属)をあて、ケーブルを 1 回巻き付けてフェライトコアを閉じる

**■ 機器間の配線を行う**

1. IP カメラコントローラーの電源(□11)を OFF にする
2. USB (Type-C) ケーブルで、IP カメラコントローラーの CAMERA1 端子と撮影用カメラをつなぐ(①)
 - 撮影用カメラに応じた USB ケーブルを使用する。
3. LAN ケーブルで、IP カメラコントローラーの CAMERA2 端子と撮影用カメラをつなぐ(②)
4. N3 ケーブルで IP カメラコントローラーの (N3 リモート) 端子と撮影用カメラのリモコン端子をつなぐ(③)
5. 俯瞰カメラを使うときは、俯瞰カメラの USB ケーブルを IP カメラコントローラーの VIEW CAMERA 端子につなぐ(④)
6. アイピースカメラを使うときは、アイピースカメラの USB ケーブルを IP カメラコントローラーの EYEPIECE CAMERA 端子につなぐ(⑤)
7. 撮影用カメラにバッテリーを入れるか、DC カプラーと AC アダプターを使ってコンセントにつなぐ(⑥)
8. LAN ケーブルのフェライトコア側のプラグを IP カメラコントローラーの 品 (イーサネット) 端子につなぎ、他方を PoE ハブをつなぐ(⑦)
9. PoE ハブを電源につなぐ(⑧)
10. 制御用 PC および必要に応じて FTP サーバーを PoE ハブにつなぐ
11. IP カメラコントローラーの電源(□11)を ON にする

MEMO

- 撮影用カメラを接続するときは、IP カメラコントローラーの電源を OFF にしてください。

電源を入れる／切る

本機を雲台ヘッドに接続しないで使う場合、以下の操作で電源を ON/OFF できます。

電源を入れる

IP カメラコントローラーが電源 OFF のときに電源スライドスイッチをスライドすると、電源が入り、電源／ステータスランプの緑色が点灯、橙色が点滅(1 秒間に 1 回)します。IP カメラコントローラーの起動が完了すると、電源／ステータスランプは緑色だけが点灯します。

電源を切る

IP カメラコントローラーが電源 ON のときに電源スライドスイッチをスライドすると、電源／ステータスランプの緑色が消灯、橙色が点滅(1 秒間に 2 回)し、IP カメラコントローラーの終了処理が完了すると、電源／ステータスランプの橙色の点滅が終了して電源が切れます。電源 OFF 中、PoE ハブからの電源供給があるときは、電源／ステータスランプの橙色が点灯し、電源供給がないときは消灯します。

電源スライドスイッチをロックする

電源スライドスイッチを LOCK 側に押すと、電源スライドスイッチをロックすることができ、不用意な電源 OFF を防止することができます。

4 設定

この章では Web セットアップツールを使用した初期設定や確認操作について説明します。雲台ヘッドを使用しない場合は、雲台ヘッドに関する記載を読み飛ばしてください。

Web セットアップツールを使用した確認手順

1. 雲台ヘッドまたは IP カメラコントローラーの電源(11)を ON にする
2. パスワードとネットワーク設定を行う
3. 接続機器を確認し、登録する
4. 雲台ヘッド使用時のみ 雲台ヘッドのホーミングを行う
5. 雲台ヘッド使用時でかつ、初回またはレンズ交換時のみ 使用するレンズを選択する
6. 雲台ヘッド使用時のみ パン、チルト、ロール、ズームの動作確認と可動域の設定を行う
7. 撮影用カメラの撮影設定、シャッター操作を確認する
8. 雲台ヘッド使用時のみ 雲台ヘッドのホーミングを行う
9. 本番撮影向けの READY 状態に移行する
10. ログアウトする
11. 雲台ヘッドまたは IP カメラコントローラーの電源(11)を OFF にする

Web セットアップツールを起動する

Web セットアップツールの動作環境(OS、Web ブラウザー)などの情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

MEMO

プロキシ設定の自動検出を行わない

OS のネットワーク設定で、プロキシ設定を自動的に検出する機能を OFF にしてください。

Windows 10 の例:

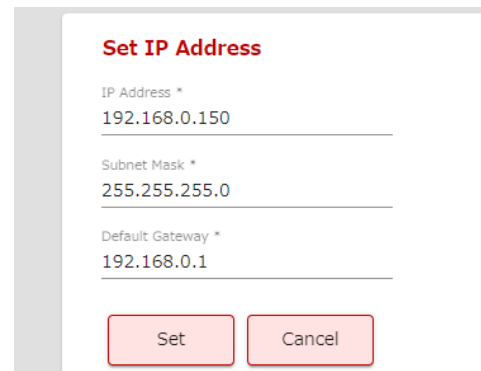
スタートメニュー → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [プロキシ] で [設定を自動的に検出する] を OFF にする。

1. Web ブラウザーを起動し、以下の URL にアクセスする
http://[IP アドレス]
 - 工場出荷時、IP アドレスは「192.168.0.1」に設定されている。
2. 初回起動時のみ パスワードを 2 回入力して [Set] を押す
 - 初回起動時または工場出荷設定に戻した後は、パスワード変更画面が表示される。

3. **初回起動時のみ** IP カメラコントローラーの IP アドレスを設定する(📖13)
 - 初回起動時または工場出荷設定に戻した後は IP アドレス設定画面が表示される。
4. 操作 1 と同様に、Web ブラウザーから Web セットアップツールの URL にアクセスする
 - このとき、操作 3 で設定した IP アドレスを使用する。
 - ログイン画面が表示されたら、Web ブラウザーのブックマークに登録する。
5. ユーザー名 (Username) とパスワード (Password) を入力して [Login] を押す
 - ユーザー名は「admin」を、パスワードは操作 2 で設定したパスワードを使用する。

■ IP カメラコントローラーの IP アドレスを設定する

1. IP アドレス (192.168.0.1 以外) とサブネットマスク、および、必要に応じてデフォルトゲートウェイを入力して、[Set] を押す
 - IP アドレスを設定すると、本機が自動的に再起動する。再アクセス可能になるまで約 1 分間かかる。
 - 再起動後は、変更後の IP アドレスを含む URL でアクセス可能となる。
http://[変更後の IP アドレス]



Set IP Address

IP Address *
192.168.0.150

Subnet Mask *
255.255.255.0

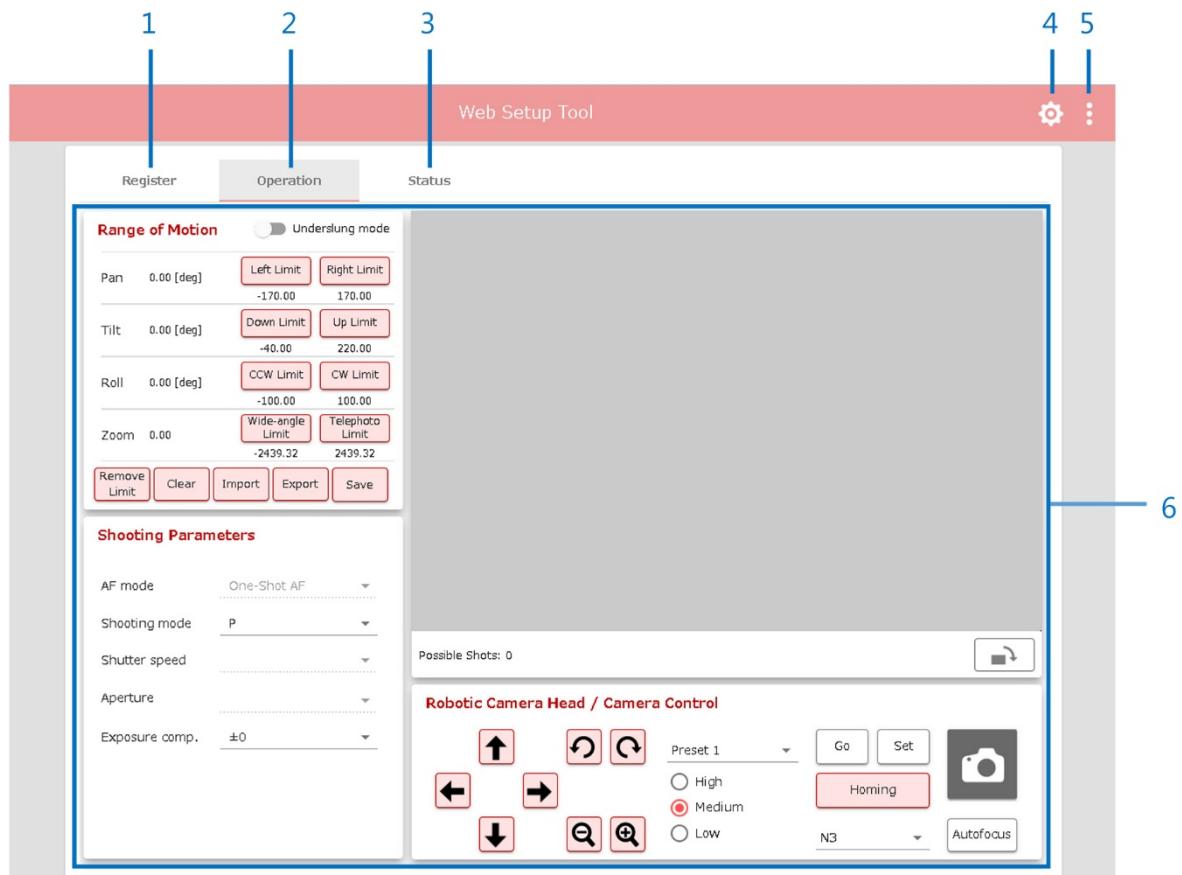
Default Gateway *
192.168.0.1

Set Cancel

MEMO

- 設定した IP アドレスとパスワードを忘れると本機の初期化が必要となります。

Web セットアップツールの画面構成

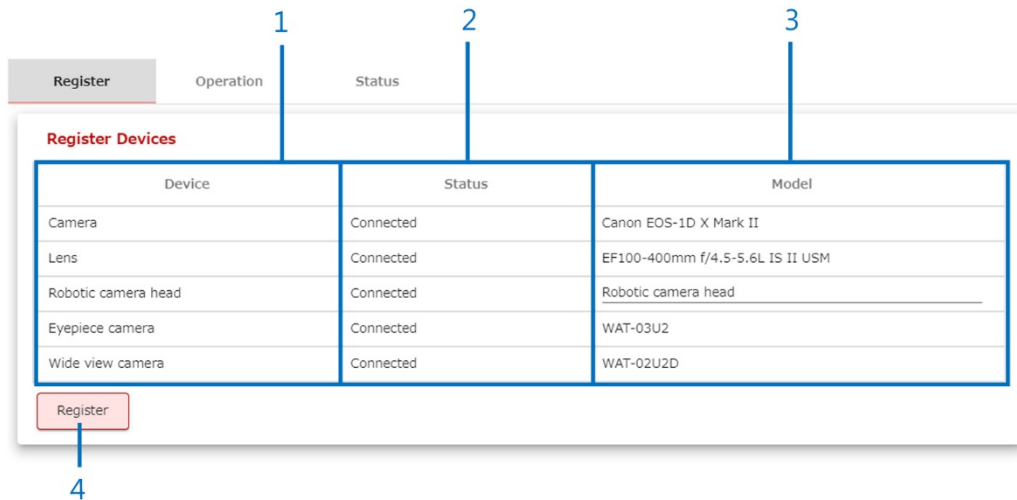


- 1 接続機器登録(Register)タブ
- 2 操作パネル(Operation)タブ
- 3 ステータス(Status)タブ

- 4 ロボティックカメラヘッド設定メニューボタン
- 5 メニューボタン
- 6 表示/設定エリア

接続機器を登録する

接続機器登録 (Register) タブを選ぶと、Register Devices 画面が表示されます。この画面では、撮影用カメラ、レンズ、雲台ヘッド、俯瞰カメラ、アイピースカメラの接続状態の確認と、接続機器としての登録を行います。Robotic camera head (雲台ヘッド) のモデル名以外の内容は、接続機器から自動的に取得して表示します。



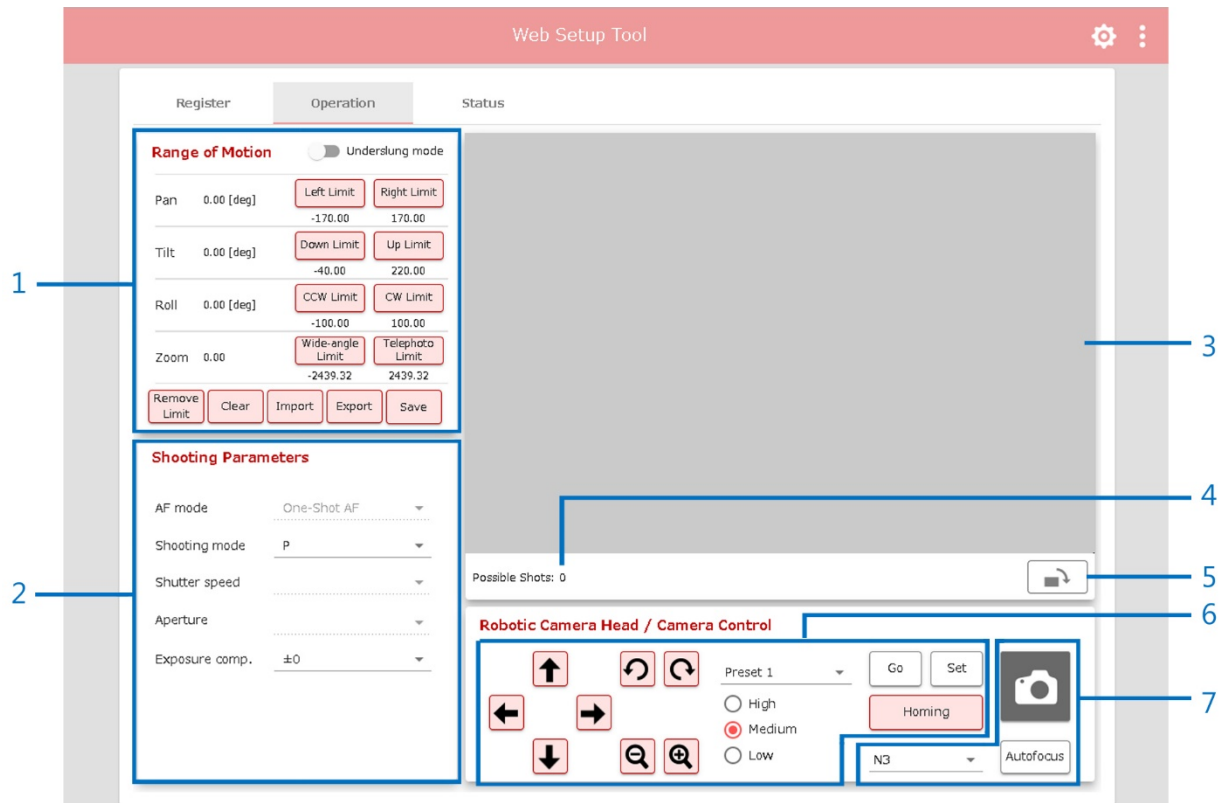
- 1 機器種別 (Device)
- 2 機器の状態 (Status)
- 3 モデル名 (Model)
 - 雲台ヘッドの場合は、必要に応じて任意の文字列 (最大 100 文字) を入力できる。
- 4 Register ボタン

■ 接続機器を確認して登録する

1. 接続している機器の状態、モデル名を確認する
 - 接続機器の Status が「Disconnected」と表示されるか、または Model が表示されないときは、その機器の接続状態や電源状態を確認してください。
2. 雲台ヘッド使用時のみ Robotic camera head のモデル名に任意の名称を入力する
3. 接続している機器がすべて正常に表示されたら、[Register] ボタンを押して、登録する
 - 撮影用カメラが接続されていないときは、[Register] ボタンが無効になり登録できない。

操作パネルの画面構成

操作パネル(Operation)タブを選ぶと、次の画面が表示されます。



- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 可動域設定エリア | 5 90度回転ボタン |
| 2 撮影パラメーター設定エリア | • ライブビュー映像を右に90度回転する |
| 3 ライブビュー表示エリア | 6 雲台ヘッド制御エリア |
| 4 撮影可能枚数 | 7 撮影操作エリア |

雲台ヘッドのホーミングを行う

雲台ヘッド使用時は、[Homing] ボタンを押すと、雲台ヘッドのホーミングを行い、パン／チルト／ロール／ズームの位置を原点に戻すことができます。原点は、パンが0°、チルトが90°、ロールが0°、ズームが0（Wide端）です。

MEMO

- 雲台ヘッドの電源を入れた直後、および電源を切る直前には、必ずホーミング([Homing])を行ってください。
- ホーミングの対象となる軸(パン、チルト、ロール、ズーム)はロボティックカメラヘッド設定メニューで設定できます(□22)。

使用するレンズを選択する

はじめて設置するときやレンズを交換したときは、撮影用カメラに取り付けているレンズを、 (ロボティックカメラヘッド設定メニュー) → [Control] → [Devices] → [Lens] で選択します。リストに表示されないレンズを使用するときは、[Unspecified] (指定なし)を選んでください。

吊り下げモードを切り換える

雲台ヘッドを吊り下げ位置で設置する場合は、[Underslung mode] を ON にして吊り下げモードにしてください。
吊り下げモードにすると、パンとチルトの方向が逆になります。

雲台ヘッドの可動域を設定する

雲台ヘッドのパン／チルト／ロール／ズームの可動域を設定します。

Range of Motion ☐ Underslung mode

Pan	0.00 [deg]	Left Limit	Right Limit
		-170.00	170.00
Tilt	0.00 [deg]	Down Limit	Up Limit
		-40.00	220.00
Roll	0.00 [deg]	CCW Limit	CW Limit
		-100.00	100.00
Zoom	0.00	Wide-angle Limit	Telephoto Limit
		-2439.32	2439.32

Robotic Camera Head / Camera Control

↑

← →

↓

↺ ↻ ↻

🔍 🔍

Preset 1 ▾

☐ High

☒ Medium

☐ Low

Go Set

Homing

N3 ▾

ご注意

- 雲台ヘッドの可動域を設定していても、ホーミングの位置は変わらないため、ホーミング動作時に可動域外に移動することがあります。

動作速度を切り換える

パン、チルト、ロール、ズームを行うときの動作速度を、[High]、[Medium]、[Low] から選択できます。[High]、[Medium]、[Low] のスピードは動作方向ごとにロボティックカメラヘッド設定メニュー(□22)で変更できます。

パンの可動域設定

← または → を押すと左右にパンできます。吊り下げモードのときは逆に動作します。

- ← を押して左の制限位置に移動し、[Left Limit] を押すと、可動域の左端が更新される
- 同様に、→ を押して右の制限位置に移動し、[Right Limit] を押すと、可動域の右端が更新される
- [Save] ボタンを押すと、現在の可動域が設定される

Pan 0.00 [deg]

Left Limit Right Limit

-170.00 170.00

現在のパン位置

現在の可動域 (左右)

■ チルトの可動域設定

↑ または ↓ を押すと上下にチルトできます。吊り下げモードのときは逆に動作します。

1. ↓ を押して下の制限位置に移動し、[Down Limit] を押すと、可動域の下端が更新される
2. 同様に、↑ を押して上の制限位置に移動し、[Up Limit] を押すと、可動域の上端が更新される
3. [Save] ボタンを押すと、現在の可動域が設定される



■ ロールの可動域設定

↺ または ↻ を押すと反時計回りまたは時計回りにロールできます。

1. ↺ を押して反時計回りの制限位置に移動し、[CCW Limit] を押すと、可動域の反時計回り端が更新される
2. 同様に、↻ を押して時計回りの制限位置に移動し、[CW Limit] を押すと、可動域の時計回り端が更新される
3. [Save] ボタンを押すと、現在の可動域が設定される



■ ズームの可動域設定

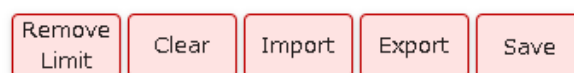
🔍 または 🔍 を押すとワイド側またはテレ側にズームできます。

1. 🔍 を押してワイド側の制限位置に移動し、[Wide-angle Limit] を押すと、可動域のワイド端が更新される
2. 同様に、🔍 を押してテレ側の制限位置に移動し、[Telephoto Limit] を押すと、可動域のテレ端が更新される
3. [Save] ボタンを押すと、現在の可動域が設定される



■ 可動域設定の操作を行う

パン、チルト、ロール、ズームの各可動域の両端と吊り下げモードの設定をまとめて「可動域設定」と呼びます。



雲台ヘッドの可動域の制限を解除する

[Remove Limit] ボタンを押すと、雲台ヘッドの可動域の制限が解除され、可動域外への動作が可能となります。現在調整中の表示上の可動域は保持されるため、一部の可動域だけを変更するときに、使用します。

可動域設定を初期状態に戻す

[Clear] ボタンを押すと、可動域を初期状態に戻します。すべての軸の可動域設定を初期状態に戻すときに使用します。

可動域設定をインポートする

[Import] ボタンを押すと、エクスポートしておいた可動域設定ファイルを読み込みます。

可動域設定をエクスポートする

[Export] ボタンを押すと、IP カメラコントローラーに保存されている可動域設定を JSON 形式のファイルにエクスポートします。

可動域設定を保存する

[Save] ボタンを押すと、現在画面上に表示している可動域設定を IP カメラコントローラーに保存します。

雲台ヘッドの位置をプリセットする

雲台ヘッドのパン／チルト／ロール／ズームの位置をプリセットとして登録し、後にプリセットした位置に移動させることができます。

- 1 プリセット選択リスト
- 2 移動ボタン
- 3 登録ボタン



■ プリセットを登録する

雲台ヘッドのパン／チルト／ロール／ズームの位置をプリセットとして登録することができます。プリセットは 5 つまで登録できます。

1. 雲台ヘッドのパン／チルト／ロール／ズームを調整する
2. プリセット選択リストから、登録先のプリセット番号を選び、[Set] を押す
 - 雲台ヘッドの各軸の調整位置が、操作 2 で選んだ番号のプリセットに登録される。

■ プリセットした位置に移動する

1. プリセット選択リストから、移動したいプリセット番号を選び、[Go] を押す
 - 雲台ヘッドの各軸の位置が、選んだプリセット番号に登録されている位置に移動する。

撮影用カメラの動作を確認する

制御用パソコンで Web セットアップツールを起動して動作確認と必要な設定を行います。カメラリモートアプリケーションを使用して撮影するときは、事前に、必ずカメラリモートアプリケーションを使用して動作を確認してください。

参考 ▶ 雲台ヘッドと一緒に使用しない場合：「接続／設定のチェックリスト」(□28)

■ 接続したカメラの映像を確認する

撮影用カメラのライブビュー映像がライブビュー表示エリアに表示されます。ライブビュー映像は 1 秒に 1 回更新されます。

MEMO

- 俯瞰カメラとアイピースカメラの映像は、本ソフトウェアでは確認できません。Windows のカメラアプリなどで確認してください。また、アイピースカメラの映像が不鮮明なときは、カメラリモートアプリケーションでアイピースカメラの映像を確認しながら、撮影用カメラの視度調整で微調整できます。

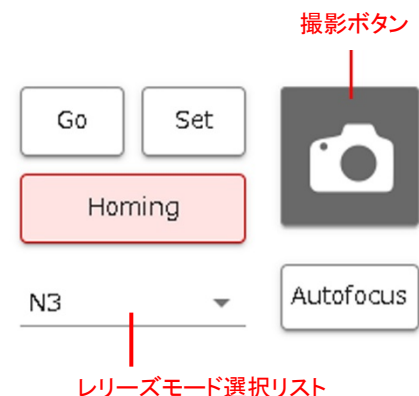
■ 撮影用カメラの撮影設定を変更する

撮影設定として、AF モード、撮影モード、シャッター速度、F 値、露出補正を設定できます。接続している撮影用カメラによって選択できる項目／値は異なります。

■ 撮影用カメラのオートフォーカス／シャッター操作を確認する

撮影用カメラは、3 系統 (N3 リモート、USB、雲台ヘッド) のインターフェースで制御できます。撮影データを FTP サーバーに転送する場合は、あらかじめ FTP サーバーとカメラの設定を行ってください。

1. レリーズモード選択リストで、使用する制御系統 (N3 リモート、USB、雲台ヘッド) を選ぶ
2. 必要に応じて、[Autofocus] ボタンを押して、オートフォーカスを実行する
 - オートフォーカス動作は 3 秒後に停止する。
3. 撮影ボタンを押して、静止画を記録する
 - 静止画が記録メディアに記録される。FTP 転送を設定しているときは、FTP サーバーに転送される。
 - レリーズモードが N3 または Head の場合、[Autofocus] ボタンによるオートフォーカス動作中は撮影できない。



MEMO

- カメラリモートアプリケーション CR-A100 を使用すると、記録メディアに記録した画像を確認することができます。
- レリーズモードを N3 にして撮影する場合、露出が適正ではないなどピントが合いにくい状況では、撮影ボタンを押してもシャッターが切れないことがあります。このときは、撮影ボタンを長く押して撮影してください。

Status 画面でシステムの状態を確認する

ステータス (Status) タブを選ぶと、次の画面が表示されます。この画面では、接続機器のモデル名と状態、および雲台ヘッドのパン／チルト／ロール／ズームの可動域の設定内容を確認できます。また、IP カメラコントローラーの READY 状態の設定／解除を切り換えることもできます。

Register
Operation
Status

Device Status
READY Status : READY

Device	Status	Model
Camera	Connected	Canon EOS-1D X Mark II
Lens	Connected	EF100-400mm f/4.5-5.6L IS II USM
Robotic camera head	Connected	Robotic camera head
Eyepiece camera	Connected	WAT-03U2
Wide view camera	Connected	WAT-02U2D

Range of Motion

Axis	Min	Max
Pan	Left: -170.00 [deg]	Right: 170.00 [deg]
Tilt	Down: -40.00 [deg]	Up: 220.00 [deg]
Roll	CCW: -100.00 [deg]	CW: 100.00 [deg]
Zoom	Wide: -2439.32	Telephoto: 2439.32

Set READY
Clear READY

本番撮影用の READY 状態に移行する

Status 画面の [Set READY] ボタンを押すと、本システムが READY 状態に移行します。READY 状態を解除するときは、[Clear READY] ボタンを押します。

MEMO

- 本番撮影は READY 状態で行ってください。

IP カメラコントローラーのファームウェアを更新する

- ファームウェアの更新用のファイル入手し、制御用 PC 内に保存する
 - 更新用のファイルは、キャノンのホームページからダウンロードできる。
-  (メニュー) → [Update firmware] を押す
 - 現在のファームウェアのバージョンが表示される。
- [Update] を押し、ファームウェア更新用ファイルを選ぶ
 - ファイル選択画面が表示されるので、制御用 PC 内に保存されているファームウェアファイルを選ぶ。
- [OK] を押してファームウェアを更新する
 - ファームウェアが更新され、必要に応じて本機が再起動される。
-  (メニュー) → [Update firmware] を押して、ファームウェアのバージョンを確認する

メニューで設定／操作する

■ ロボティックカメラヘッド設定メニュー

操作パネル (Operation タブ) の表示中に  を押すとロボティックカメラヘッド設定メニューが表示され、Operation タブと Control タブで雲台ヘッドや接続機器に関する設定を行うことができます。

タブ	カテゴリー	設定項目	設定値	内容	
Operation	Homing target axes	Home the pan axis	入、切	ホーミングの対象となる軸を選ぶ。	—
		Home the tilt axis	入、切		
		Home the roll axis	入、切		
		Home the zoom axis	入、切		
	Pan speed (20 – 12000)	Low	20～12000 (100)	パン、チルト、ロール、ズームの各動作の3段階の速度を設定する。 パン、チルト、ロールの動作速度の最大値は、Control タブの [Max speed for manual control] の設定に応じて変わる。	
		Medium	20～12000 (1000)		
		High	20～12000 (10000)		
	Tilt speed (20 – 12000)	Low	20～12000 (100)		
		Medium	20～12000 (1000)		
		High	20～12000 (10000)		
	Roll speed (100 – 9000)	Low	100～9000 (100)		
		Medium	100～9000 (500)		
		High	100～9000 (5000)		
	Zoom speed (0 – 7)	Low	0～7 (0)		
		Medium	0～7 (2)		
		High	0～7 (7)		
Control	Devices	Camera	選択	搭載する撮影用カメラとレンズを選ぶ。	—
		Lens	選択		
	Max speed for manual control	Pan (30 – 120)	30 ～ 120	操作時の、パン、チルト、ロールの最大速度を設定する。調整するときは、[デフォルト] のチェックを外す。	
		Tilt (30– 120)	30 ～ 120		
		Roll (30 – 90)	30 ～ 90		
	Max speed for preset	Pan (30 – 120)	30 ～ 120	プリセット位置に移動するときの、パン、チルト、ロールの最大速度を設定する。調整するときは、[デフォルト] のチェックを外す。	
		Tilt (30– 120)	30 ～ 120		
		Roll (30 – 90)	30 ～ 90		
	Acceleration	Pan (45 – 150)	45 ～ 150	パン、チルト、ロールの動作の加速度を設定する。調整するときは、[デフォルト] のチェックを外す。	
		Tilt (45– 150)	45 ～ 150		
		Roll (45 – 113)	45 ～ 113		
共通	Restore Default Settings		—	表示しているタブの設定項目を初期値に戻す。[OK] ボタンを押さないかぎり適用されない。	—

ご注意

- Control タブの最大速度、加速度の設定は、通常は初期状態でご使用ください。
- Control タブの最大速度、加速度の設定を変更する場合、使用するレンズと設定の組み合わせによっては、正しく動作しないことがあります。設定を変更するときは、本機の動作を十分にご確認ください。

■ メニュー

 (メニュー)を押すとメニューが表示され、ログアウトやシステム設定、メンテナンスなどの操作を行うことができます。

設定項目	詳細項目 1	詳細項目 2	内容	
Log out			IP カメラコントローラーからログアウトする。	—
Change password			ログインパスワードを変更する。	12
Set IP address			IP カメラコントローラーの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する。	13
Update firmware			IP カメラコントローラーのファームウェアを更新する。	21
Maintenance	Power Control	Camera	撮影用カメラの電源を ON/OFF する。	—
		Eyepiece camera	アイピースカメラの電源を ON/OFF する。	
		Wide view camera	俯瞰カメラの電源を ON/OFF する。	
		Extension port	拡張ポートの電源を ON/OFF する。	
	Console	Command	サービスマン用の機能。	—
		Log		
	Reboot		IP カメラコントローラーを再起動する。	—
	Restore Factory Settings		IP カメラコントローラーの設定を工場出荷設定に戻す。	—
	Download FW Log		IP カメラコントローラーのファームウェアのログをダウンロードする。サービスマン用の機能。	—
	Download Web Log		IP カメラコントローラーの Web サービスのログをダウンロードする。サービスマン用の機能。	—
License information			IP カメラコントローラーのファームウェアが使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示する	—

5 その他

トラブルシューティング

現象	原因と対処	
本機が起動しない	雲台ヘッドとともに使用する場合： • HEAD 端子を雲台ヘッドに接続していない。 雲台ヘッドとともに使用しない場合： • 品 (イーサネット) 端子を PoE ハブに接続していない。接続している PoE ハブが本機の必要とする PoE の規格や電源仕様を満たしていない。	26
本機の電源が切れない	• 電源スライドスイッチをスライドして 3 秒以上保持し続け、電源／ステータスランプが点滅(1 秒間に 4 回)し始めたらスライドスイッチを戻す。強制的に本機の電源が切れる。	—
本機の IP アドレスやパスワードを忘れ、Web セットアップツールが起動できない	• 電源スライドスイッチを操作して、本機を工場出荷設定に戻す。	25
ログイン画面が表示されない	• 入力した URL の IP アドレスが正しくない。設定した IP アドレスを確認する。 • 入力した URL の末尾に「/」を付加した。URL の末尾に「/」を付けないで再度アクセスする。 • IP カメラコントローラーとパソコンで IP アドレスが競合していないか確認する。	13
吊り下げ位置に設置したとき、パンの左右が逆に動作する	• 吊り下げモードに設定していない。Web セットアップツールで [Underslung mode](吊り下げモード) を ON にする。	17
撮影用カメラが正しく動作しない	• 撮影用カメラに何らかのエラーが発生している可能性がある。撮影用カメラの電源を OFF/ON する。雲台ヘッドとともに使用する場合は、 (メニュー) → [Maintenance] → [Power Control] → [Camera] で、撮影用カメラの電源を OFF/ON できる。	23
撮影カメラとの通信が途絶える	• 撮影カメラと本機を接続している USB (Type-C) ケーブルを抜き差しする。	—
俯瞰カメラ／アイピースカメラの映像が表示されない	• Web セットアップツールでは表示されない。カメラリモートアプリケーションで確認する。	—
俯瞰カメラ／アイピースカメラが正しく動作しない	• 俯瞰カメラ／アイピースカメラに何らかのエラーが発生している可能性がある。 (メニュー) → [Maintenance] → [Power Control] の [Eyepiece camera] または [Wide view camera] で、該当するカメラの電源を OFF/ON する。	23

現象	原因と対処	📖
イーサネット 1000 Mbps リンクランプ／イーサネット 100 Mbps リンクランプが点灯しない	• ネットワークに正常に接続されていない。LAN ケーブルを抜き差しする。	—
イーサネット 1000 Mbps リンクランプ／イーサネット 100 Mbps リンクランプが点滅しない	• データ通信が行えていない。Web セットアップツールの IP アドレス設定画面で、正しい IP アドレスが設定されているか確認する。	—
画像が記録されない	• 撮影用カメラに記録メディアが入っていないか、空き容量がなくなった。十分な空き容量のある記録メディアを入れる。	—
FTP サーバーに画像が転送されない	• 撮影用カメラに記録メディアが入っていないか、空き容量がなくなった。十分な空き容量のある記録メディアを入れる。 • FTP サーバーの設定を確認する。詳細については、撮影用カメラの有線 LAN 使用説明書をご覧ください。	—
電源／ステータスランプが橙色に点滅（1 秒間に 1 回、約 10 秒間）する	• 本機にエラーが発生した。電源を入れ直す。	—
本機が正常に動作しない	• 電源スライドスイッチを操作して、本機を工場出荷設定に戻す。	25

■ エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処	📖
Changes to the motion range values were not saved. Leave the main screen and lose the changes?	• 可動域設定を変更後、[Save] ボタンを押さずに、  (メニュー) の [Log Out] や [Update firmware] などの画面に移動しようとした。可動域設定を保存するときは、[Cancel] ボタン → [Save] ボタンを押す。[OK] ボタンを押すと、変更した可動域設定が破棄される。	19
Failed to restore the factory setting.	• [Restore Factory Settings] に失敗した。電源スライドスイッチを操作して、本機を工場出荷設定に戻す。	25
Failed to upload the firmware.	• ファームウェアのアップロードに失敗した。本機と接続機器の電源を入れ直し、再度 Web セットアップツールを起動した後、もう一度操作する。	11
Failed to ...	• 何らかのエラーが発生した。本機と接続機器の電源を入れ直し、再度 Web セットアップツールを起動した後、もう一度操作する。	—

■ 本機を工場出荷設定に戻す

 (メニュー) → [Maintenance] → [Restore Factory Settings] で本機を工場出荷設定に戻すことができます。Web セットアップツールの操作ができないときは、電源 スライドスイッチでも本機を工場出荷設定に戻せます。

1. 電源スライドスイッチをスライドして 10 秒以上保持し続ける
2. 電源／ステータスランプが点滅（1 秒間に 8 回）し始めた後、点滅（1 秒間に 2 回）に切り換わったらスライドスイッチを放す
 - 本機が工場出荷設定に戻る。

製品仕様

■ IP カメラコントローラー CR-G100

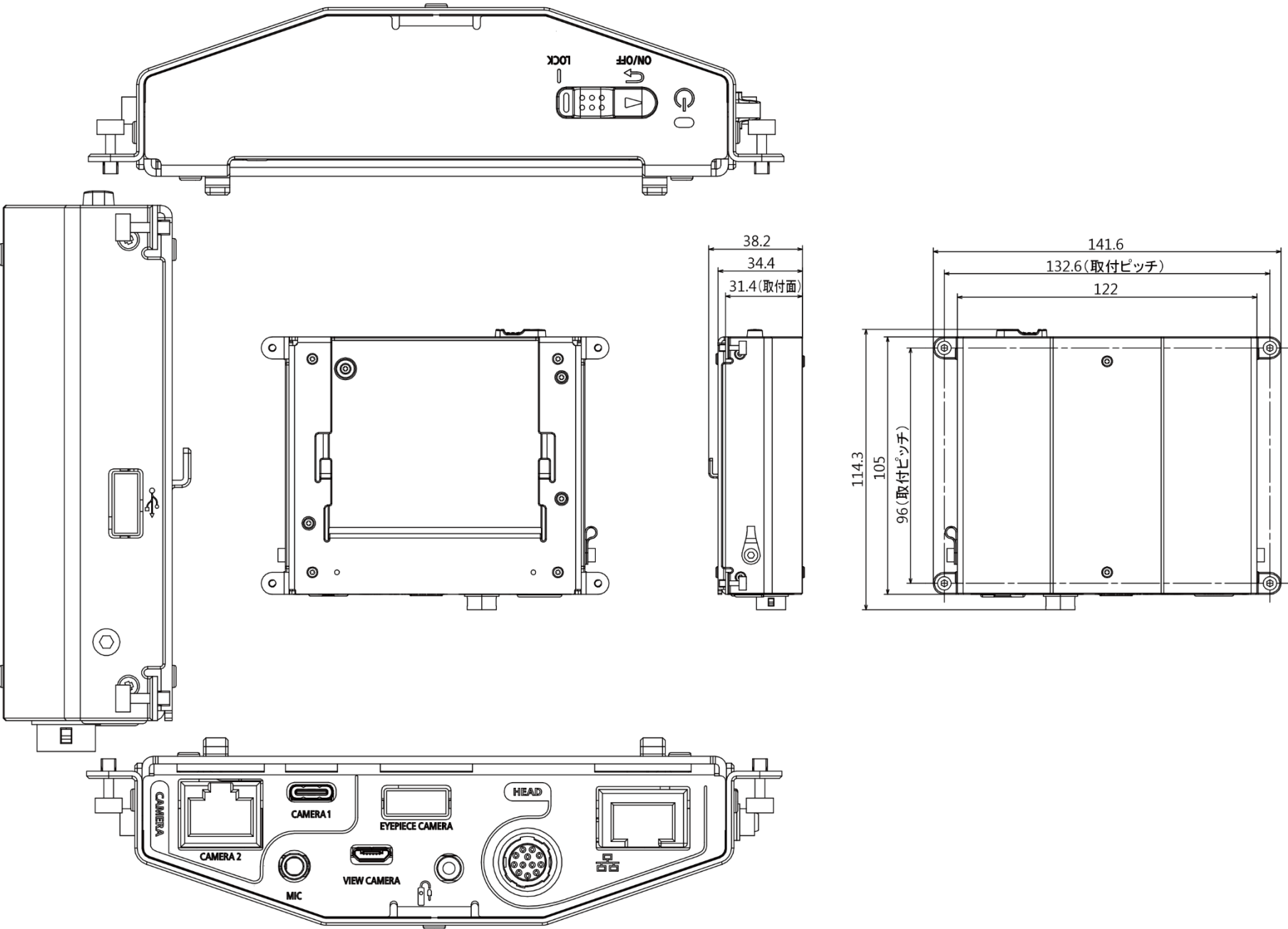
使用条件	温度：－15℃ ～ ＋40℃ 湿度：90% RH 以下（結露がないこと）
固定方法	六角穴付きボルト（M3）4 本にて取り付け
HEAD 端子	雲台ヘッド接続用
CAMERA1 端子	Super Speed USB（USB 3.0）Type-C
CAMERA2 端子	Ethernet、1000BASE-T 対応 ／ RJ-45 コネクター
 （N3 リモート）端子	φ2.5 mm N3 タイプリモコン用
EYEPIECE CAMERA 端子	Super Speed USB（USB 3.0）Type-A
VIEW CAMERA 端子	Hi-Speed USB（USB 2.0）Micro-B
 （イーサネット）端子	Ethernet、1000BASE-T 対応 ／ RJ-45 コネクター ／ PoE+給電対応
電源	PoE 機能：LAN コネクターによる PoE+給電対応* IEEE802.3at Type1/Type2 規格準拠 * 給電装置に対しては、クラス 4（30.0W を要求） 雲台ヘッド接続時：HEAD 端子から入力
消費電力	PoE 電源動作時：12 W（最大 25.5 W）
外形寸法（W x H x D）	約 142 x 38 x 114 mm
本体質量	約 335 g

6 資料集

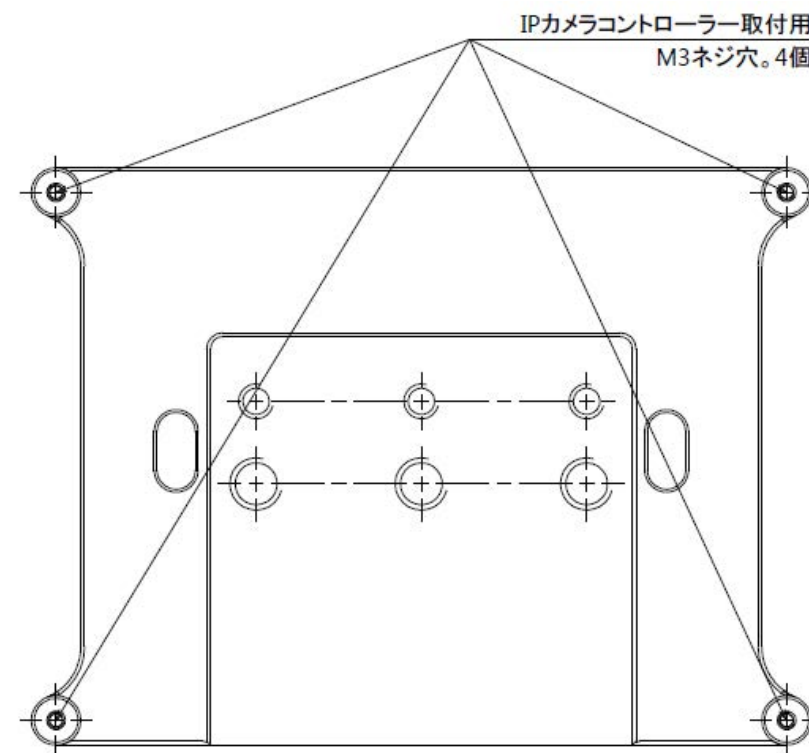
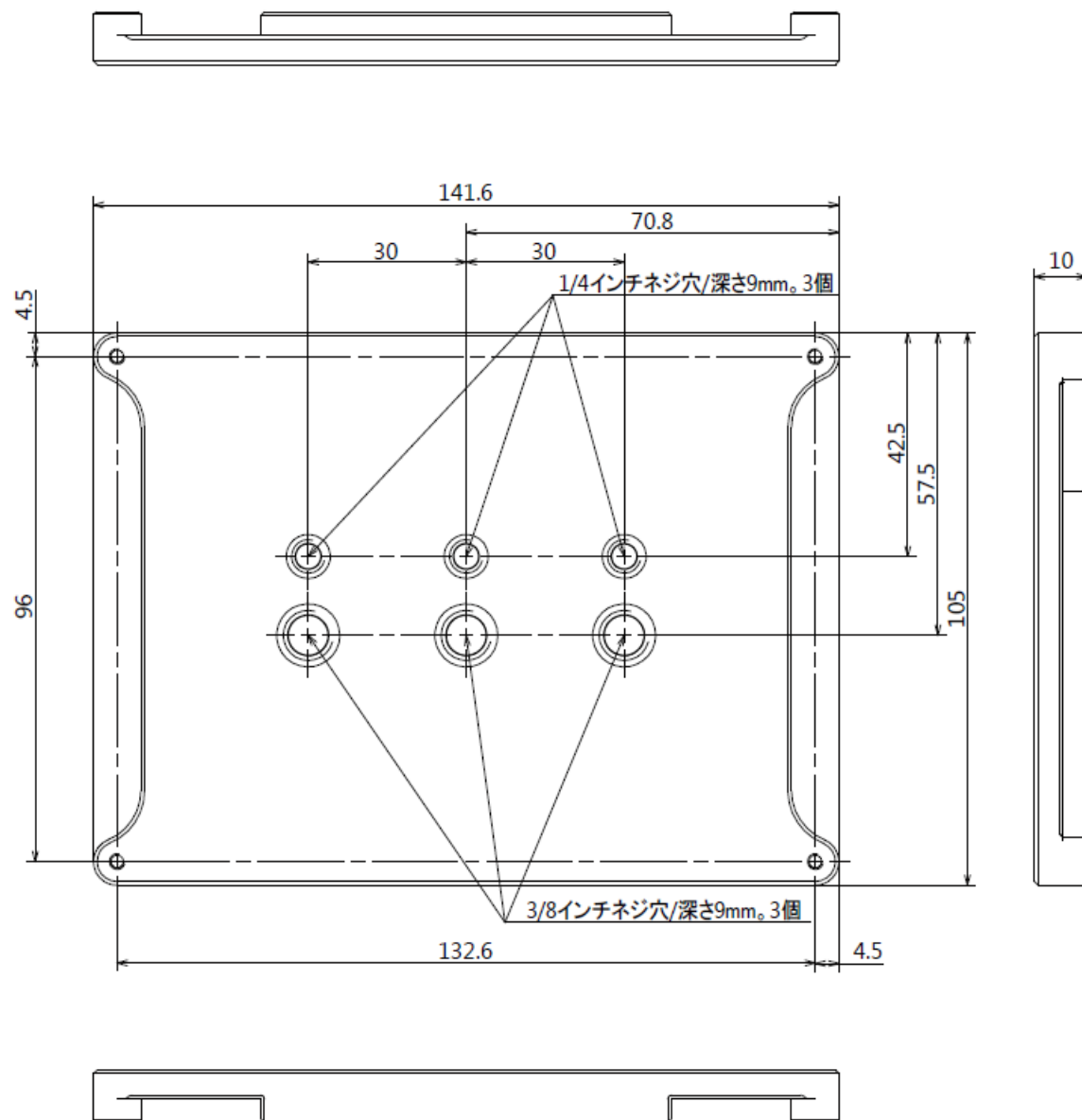
接続／設定のチェックリスト

接続／設置を行ったあとは、以下のチェックリストに従って、確認を行ってください。以下は、雲台ヘッドと一緒に使用しないとき用のチェックリストです。雲台ヘッドと一緒に使用するときは、雲台ヘッドの使用説明書のチェックリストを参照してください。

カテゴリー	確認項目	チェック
接続／設置	IP カメラコントローラーが三脚など安定した場所にしっかり固定されているか	☐
	落下防止対策がされているか	☐
	ケーブルが正しいコネクタに接続されているか	☐
	ケーブルのコネクタがしっかり差し込まれているか	☐
	カメラに入れた記録メディアに十分な空き容量があるか	☐
	アイピースカメラにメーカーのセットアップとフォーカス調整を行ったか	☐
	IP カメラコントローラーが撮影現場のネットワークの PoE ハブに接続されているか	☐
Web セットアップツール	IP カメラコントローラーの電源 ON 後、パスワードとネットワーク設定が正しく行われているか	☐
	接続機器が登録されているか	☐
	吊り下げモードの ON/OFF が正しく設定されているか	☐
	カメラとレンズのスイッチや設定の確認が正しく行われているか	☐
	IP カメラコントローラーを READY 状態にしているか	☐
カメラリモートアプリケーション	俯瞰カメラの映像が正しく表示されるか	☐
	アイピースカメラの映像が正しく表示されるか	☐
	アイピースカメラの映像が明瞭に表示されるか。必要に応じて撮影用カメラの視度調整による微調整を行う	☐
	カメラリモートアプリケーションでの操作が正しく行えるか	☐
	撮影用カメラの記録メディアに記録された画像が取得できるか	☐
	FTP サーバーに画像が転送されているか	☐



外観図(スタンドアロンベースアダプター)



7 索引

あ

アイピースカメラ	9
安全上のご注意	4
雲台ヘッド	12
エラーメッセージ	25
オートフォーカス動作	20

か

外観図	29
可動域	17、18
可動域設定のインポート	19
可動域設定のエクスポート	19
カメラリモートアプリケーション CR-A100(別売)	6

さ

撮影用カメラ	9
撮影用カメラの動作確認	20
シャッター操作	20
使用条件	26
ズーム	18
スタンドアローンベースアダプター	6、9、30
製品仕様	26
接続機器	15、22
設置	9

た

チェックリスト	28
チルト	18
吊り下げモード	17
電源	26
電源を入れる	11
動作速度	17、22
登録	15
トラブルシューティング	24
取り扱い上のご注意	5

は

配線を行う	9
パスワード	12
パン	17
ファームウェア更新	21
フェライトコア	10
俯瞰カメラ	9
プリセット	19
ホーミング	12、16、22

ま

メニュー	22、23
免責事項	5

や

ユーザー名	13
-------	----

ら

ロール	18
ログイン	13
ロボティックカメラヘッド設定メニュー	22

A

CAMERA1 / 2 端子	8、9、26
EYEPIECE CAMERA 端子	8、9、26
HEAD 端子	8、26
IP アドレス	12、13
IP カメラコントローラー	9
PoE ハブ	9
READY 状態	21
Status 画面	21
URL	12
VIEW CAMERA 端子	8、9、26
Web セットアップツール	12
品 (イーサネット) 端子	8、9、26
品 (N3 リモート) 端子	8、9、26



キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

本書の記載内容は 2020 年 1 月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。